

授業科目

社会保障論I

担当教員名 青柳 親房	対象学年	3	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

テキストに沿って社会保障制度を取り巻く環境、社会保障制度に関わるデータを正しく理解し、これを踏まえて社会保障の個々の制度の概要と課題を考える。

授業の目的

日本の社会保障制度を取り巻く環境の変化と課題を理解した上で、社会保障を体系づけている各制度の仕組みと方法を学ぶ。特に、社会保障の給付と負担の関係については、データを読み取って説明できる基礎的力量を形成する。(介護福祉コース選択者は、介護保険制度、障害者自立支援制度等介護実践に関する諸制度についても学びも深めてもらいたい)

学習目標

1. 社会保障制度を取り巻く環境を理解することができる。
2. 社会保障制度の概要を理解することができる。
3. 社会保障給付費及び国民医療費とその財源を正しく捉えることができる。
4. 社会保障制度の仕組みと方法を理解することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	授業の概要説明	講義	青柳 親房
2	人口の動向	講義	青柳 親房
3	社会保障の対象	講義	青柳 親房
4	社会保障関係費	講義	青柳 親房
5	社会保障給付費(1)	講義	青柳 親房
6	社会保障給付費(2)	講義	青柳 親房
7	国民医療費(1)	講義	青柳 親房
8	国民医療費(2)	講義	青柳 親房
9	社会保険の概念と範囲	講義	青柳 親房
10	社会扶助の特色と範囲	講義	青柳 親房
11	医療保険制度の概要	講義	青柳 親房
12	健康保険制度(1)	講義	青柳 親房
13	健康保険制度(2)	講義	青柳 親房
14	国民健康保険制度	講義	青柳 親房
15	まとめ・補論	講義	青柳 親房

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	社会福祉学習双書『社会保障論』	社会福祉学習双書編集委員会	全国社会福祉協議会	2017年	2,400円+税	
参考書	適宜、授業中に紹介する。					
その他の資料	適宜、授業中に紹介する。					

評価方法

1. 定期試験で評価する。

履修上の留意点

社会福祉士国家試験指定科目（共通科目）であるので、国家試験対策という観点からも目的意識を明確にして主体的かつ積極的に学んでほしい。

オフィスアワー・連絡先

研究室 F 1 0 5（講義時間を除き、原則火曜日から金曜日まで在室）

E-mail chikafusa-aoyagi@nuhw.ac.jp